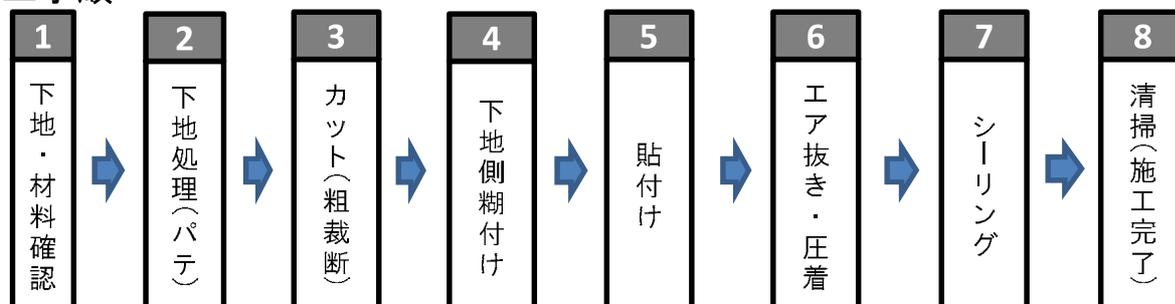


 施工前に施工要領書をよく読み、正しく施工してください。

## ■ 施工手順



### 1 下地・材料確認※1

石膏プラスターボード	◎
ベニヤ合板、MDF	○
非吸水性下地※2(金属、プラスチック、プリント合板)、コンクリート、壁クロス	△
ガラス、モルタル、ペンキ、砂壁、レンガ	×

※1 クロスを剥がした場合は、下地の状態を確認してから下地処理をおこなってください。

※2 非吸水性下地において糊の水分の逃げ場がないことによるフクレが発生する場合があります。

適切な下地調整剤による下地処理を行ってください。

### 施工可能環境

○	室内
×	屋外、浴室など水濡れがある場所、 直接火があたる場所、高温になる場所

### 材料確認

- 商品到着後、輸送時の破損・傷の確認をお願い致します。その後の責任は負いかねますのでご注意ください。中身を確認し速やかにご使用してください。  
到着した中身はサンプル等で、ご依頼した材料と相違ないことを確認してください。
- 到着後は平坦な場所に横置きで保管してください。縦置き保管は、端部つぶれの原因になりますので避けてください。
- 乱暴に取り扱わないでください。**商品性質上、一度折れると元に戻りません。**

### 施工時の注意

- 前処理方法の確認

石膏プラスターボード、ベニヤ合板、MDF	釘・タッカーの錨頭等の処理
非吸水性下地(金属※3、プラスチック、プリント合板)	汚れを除去した後、下地にあつたシーラー・プライマーを塗布
コンクリート、壁クロス	錆・油脂成分・汚れの除去 表面層の確認

※3 金属下地の場合は、ベルビアンホワイトボードシートを推奨します

- 下地基材の不陸が表面に出やすいので、**パテ処理を入念に行ってください**。ボードの継ぎ目や凹部が大きい場合には、下塗りが必要ですが、表面が平滑の場合には、下塗りを省略できる場合があります。表面状態をよく確認して作業を進めてください。
- パテ処理面、ペンキ塗装面、非吸水性下地については適切な下地調整剤を塗布し、完全乾燥後、「ホワイトボード」の施工を行ってください。
- 直射日光のあたる場所、火や熱源のそば、高温多湿になる場所、屋外での使用・保管は避けてください。変色や変形、はがれ、マーカーが消えなくなるなどの原因になります。
- 「ホワイトボードシート」のジョイントは重ね貼りを推奨します。突き付けする場合は、ジョイント部分が目立つので市販のジョイナーなどで突き付け部を隠すことも参考にしてください。
- シートは厚みがあり重い(約2kg/m<sup>2</sup>)ので、施工は2人以上**で行ってください。
- シートの貼り方向は、施工面積や場所により、縦貼りか横貼りを選択**してください。
- 施工現場の気温は、+5℃～+35℃の環境で施工してください。
- 施工中および施工後の養生期間には換気を行ってください。
- 施工後、表面(ホワイトボードシート面)に付着した接着剤等の汚れは、完全に乾く前に水で濡らしたウエス等により完全に拭き取ってください。汚れが残っていると筆記後消せなくなる場合があります。
- 廃棄処理は国および地方自治体の法令に従ってください。
- 用途以外の使用は避けてください。
- 下記の表は、推奨する接着剤の参考資料です。施工に関しては、基材の状態を確認し、できれば試験施工をされる事をおすすめ致します。各パテ、接着剤等の使用方法については、それぞれのメーカーにお問い合わせください。

#### 推奨接着剤 (参考資料)

品名	プラゾールSS	ウォールボンドEV-30
メーカー	ヤヨイ化学工業(株)	ウォールボンド工業(株)
		
パテ処理	適宜下塗りパテ、上塗りパテ、または上下兼用パテを使い分けてください※4	
サンディング	#180～#240のサンドペーパーでサンディング	
表面清掃	刷毛、ウエス等にて清掃	
接着塗工	<ul style="list-style-type: none"> <li>●酢酸ビニル樹脂／でんぷん系の糊(混合比9:1)※5</li> <li>●ローラー塗り(基材側)</li> <li>●塗布量の目安:80g/m<sup>2</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●でんぷん+合成樹脂配合糊原液使用</li> <li>●壁側に原液を塗り、ローラーで均一に伸ばす。</li> <li>●塗布量の目安:200g/m<sup>2</sup></li> </ul>

※4 パテ処理をしても、基布(メリヤス)の目が表面に現れることがありますが、下地不良による不陸ではありません。

※5 接着剤の硬化を遅らせるために、でんぷん糊を混ぜ合わせます。施工時の季節や気温、施工現場の状況により混合比率は異なります。ご使用方法の詳細は、接着剤メーカーにお問い合わせください。

## 2 施 工



### 下地基材の表面処理

- ・下地表面状態をよく確認し、凹凸をなくすようにします。
- ・板の継ぎ目、タッカーや釘頭、深い凹部などは下塗りパテを施し、平滑な下地を作ります。
- ・パテ乾燥後、#180～#240のサンドペーパーで研磨し平滑にします。
- ・ホコリやゴミ、油汚れをハケやウエス等で清掃します。
- ・向こう糊のため貼り起こすとパテが剥離する場合があります、これを防止するため必ずシーラー塗布を行います。

## ○ヤヨイ化学製プラゾールSS使用の場合



### 下地基材への接着剤塗布

- ・接着剤の硬化を遅らせるためにでんぷん糊を混ぜ合わせてください。  
 推奨 接着剤 プラゾールSS (ヤヨイ化学工業(株))  
 推奨 でんぷん糊 ルーアマイルド (ヤヨイ化学工業(株))  
 プラゾールSS : ルーアマイルド = 9 : 1 混合比
- ・下地側に刷毛やローラーで糊付けします。(向こう糊/相手糊)  
 塗布量の目安 : 80g/m<sup>2</sup>
- ・オープンタイムはでんぷん糊を希釈して約10分以内となります。

## ○ウォールボンド製EV-30使用の場合

### 下地基材への接着剤塗布

- ・接着剤を原液のままご使用ください  
 接着剤 EV-30 (ウォールボンド工業(株))
- ・下地側に刷毛やローラーで糊付けします。(向こう糊/相手糊)  
 塗布量の目安 : 200g/m<sup>2</sup>
- ・薄すぎないようにたっぷりとへらなどで壁側に塗り、ペイントローラーなどで均一に伸ばすようにします。周囲は刷毛で丁寧に塗ってください。
- ・ボンド量が多く、乾きが早いため1巾ずつ糊付けして貼るのが基本です。



### 貼付け

- ・ホワイトボードシートの上端部を仮止めし、上部の基準線にあわせて貼りつけます。
- ・シート貼り始まり側は仮止めするか作業者が押さえる事を推奨します。
- ・シート終端側の貼付け時は、シートがめくれて折れる事に注意してください。
- ・ジョイントが必要な場合、あらかじめ割り付けし、壁紙を裁ち、付き付け施工を基本とします。
- ・ハミ出した糊はすぐに拭き取ってください。



#### エア抜き・圧着 ①

・エアーは軽く撫でながら、空気を外側に追い出すように抜いていきます。



シート表面材質のフィルム特性から、折り曲げると修復できません。  
まくれ、折れには十分注意してください。



#### エア抜き・圧着 ②

・ホワイトボードシートを引っ張りながら、撫でハケ、ヘラ等でシートの中央から外側へ空気を抜くように仕上げます。



#### シーリング

・コーナー部分等の剥がれ防止に、接着剤（原液）を塗布してください。

#### 施工終了

・付着した汚れ等は水で濡らしたウエスにより完全にふき取ってください。  
・養生テープおよびシート等を取り外します。

### 3 施工後の注意とメンテナンス

- 施工時の取扱いと残材の保管は、シート表面と端部保護のために立てかけはご遠慮ください。横置きまたは専用段ボール箱に入れてください。
- シート面に表面加工された紙や平滑な紙、印刷物、塗装面等を密着させると、環境によってははがれなくことがありますのでご注意ください。
- シート面を硬いものでこすったり、鋭利なものでひっかいたりしないでください。シート表面を傷つけると凹部にマーカーペンのインクが入り込み汚れて消せなくなります。
- 日常的な汚れはきれいな布を水で浸し、よく絞り、シート全面を水拭きしてください。次に乾いたきれいな布でシート全面の水分を完全に拭き取ってください。  
市販のホワイトボードクリーナーでの清掃もお薦めします。
- シート表面が滑りやすいため、マグネット取り付け物の落下に十分ご注意ください。

以上